

R 7

《小学生の部》

最優秀作（内閣総理大臣賞）

愛媛県愛媛大学教育学部附属小学校

2年 若狭 早

頭のイナズマ

ズキン、バリバリッ。頭のいたみに、ぼくはびっくりしました。いつもは元気いっぱいなのに、今は何もしたいと思えませんでした。ぼくは交通じこにあい、頭のほねがおれ、頭の中で出血してしまったのです。

きょ年の十二月、お絵かき教室からの帰り道。ぼくが自てん車で交さ点をわたっていると……帰りをいそいでいる車にドン、とはねられました。ぼくは一メートルくらいとばされて、地めんにたたきつけられたのです。自てん車は車にまきこまれ、ガリガリけずられました。夕方五時すぎ、空はどんどん夜にむけてくらくなる時間のことでした。

ぼくはヘルメットをかぶっていました。白と黒のかっこいいデザインで、これをかぶつているとよくほめられました。

「いいなあ、そのヘルメット。」

「レーサーみたいだね。」

ぼくのお母さんも、ぼうしと一体になったヘルメットをかぶっています。自てん車にのる時は、かならずヘルメット。それをずっとつづけていたから、車にはねられ頭をうつても「線じょうこっせつ」ですんだそうです。頭のしゃしんには、ビリビリとイナズマのよな線が入っていました。おいしゃさんから、

「ヘルメットがなければ、かんぽつこっせつ、のうざしうなどになっていたかも知れないよ。それは今よりひどいじょうたいで、いのちにかかわるからね。」

とせつめいされて、ぼくはヘルメットの大切さがよく分かりました。

ぼくがいるえひめんは、自てん車にのる人のヘルメット着用りつが日本一です。けいさつの人気がしらべたところ、えひめんでは七わりの人が着用していたそうです。車と自てん車の交通じこで、大切なのちがいくつもしなわれたので、

「ヘルメットをかぶるのは、当たり前。」

このいしきが生まれたそうです。それなのに、着用りつが一わりを切る場しょもまだあります。だからぼくは、ヘルメットでいのちがたすかたことを、これからたくさんの人につたえたいと思います。

交通じこにあった時、ぼくは自てん車のライトをつけ、はんしゃざいのついたふくを着ていました。右・左・右のかくにんもしていました。どんなに用心していても「まさか」はおこります。だからみなさん、ヘルメットをかぶりましょう。あんぜんとあん心の目じ

るし、SGマークなどがポイントです。かっこいいデザイン、かわいいデザインのものもあります。いのちをまもるおまもりとして、ヘルメットをかぶりましょう。

今年の六月、ぼくはやっと頭のほねがくつきました。ぼくの頭のイナズマは、これから二、三年かけてうすくなっていくそうです。ヘルメットがあって、本当によかったです。